



KASUMIGAURA ENDURO

チーム一丸！熱気あふれるレース

10月15日は、歩崎公園周辺を会場に『かすみがうらエンデュロ』を開催しました。第6回の開催となった今年は、雨にもかかわらず304組1086人が参加。本大会では、1周48kmの周回コースを5時間で何周できるかを競う5時間エンデュロとママチャリCUP（2時間）を行いました。

選手待機エリアには朝早くから、チームごとにとテントを設営し、選手の皆さんはおののウオーミングアップをして体を温め、午前9時からの試走では、各チーム入念にコースチェックをするなど本番に備えていました。



今年もふるさと大使のアントキの猪木さんがスターターとして、パラサイクリストの藤田征樹選手がゲストライダーとして初開催から6回連続で参戦し、イベントを盛り上げました。

会場ステージでは、ふるさと大使のオツカサリさんが歌とダンスで、そして沿道では、あゆみ太鼓の皆さんが太鼓と声援で選手たちを鼓舞していました。

雨の中という厳しい条件の中、選手の皆さんの協力のもと、大きなけがなどの事故もなくレースが行われ、チームや仲間の結束力をさらに高めることができた大会となりました。

問 観光商工課



かすみがうら エンデュロ



ライドハンターズ

in かすみがうら

初開催！

ライドハンターズ〜かすみがうら

ライドハンターズとは…

大会側が配布する「ハンティング MAP」に示されたスポットを時間内に自転車でできるだけ多く回って獲得した総合得点を競うエリア探索型サイクルイベントです。得点は、スポットまでの距離や勾配など難易度によって決められます。どういう順番でスポットをまわり、どういうルートを選択するかはチームの作戦次第のため、子どもから大人まで楽しめます。

10月14日、歩崎公園にて『かすみがうらエンデュロ』の前日イベントとして初開催し、39組85人が参加しました。

イベント当日はあいにくの雨模様でしたが、朝早くから参加者の皆さんが集まり、ルール説明時にはハンティングマップを確認し、チーム内で走行コースを計画するなど、チームの結束を高めていました。

イベントがスタートし、各スポットに散らばるライダーたち。そんなライダーたちの計画を阻むのが、大会側から突然通知が来るボーナスミッションの発令です。制限時間があるミッションなので、参加するかしないかは自由ですが、大きな加点ポイントに、ライダーたちの判断が揺さぶられました。

参加者の皆さんも、ボーナスミッションで計画を狂わされた！との声もあり、その時のチームの運が試されました。

問 観光商工課



ゴール後は、最終ランキングが発表され上位6位とベストフォトグラフィ賞（4部門）特別写真賞の表彰がされました。

サイクリングの楽しさだけでなく、おいしい地元の食べ物を堪能したり、集合写真のアングルにこだわったり、思い思いの楽しみ方ができるイベントとなりました。



りんりんフェスタ つくば霞ヶ浦サイクリング

（茨城県主催）

ライドハンターズと同日同会場で開催されたよ！

↓ 大井川知事が自転車を試乗



↑ 開催セレモニーの様子



つくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力発信、サイクリングの楽しさを広めるイベントとして、10月14日歩崎公園にて茨城県主催で『りんりんフェスタ』が初開催されました。

開催セレモニーには、大井川知事のほか、周辺自治体の首長や県議の皆さんが出席しました。

同イベントでは、つくば霞ヶ浦周辺を走る、ガイドサイクリングや交通ルールやマナーを学ぶ「自転車教室」などが行われました。